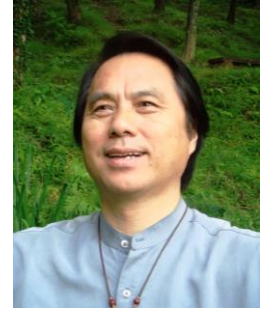




〒420-0875 静岡市葵区美川町4-23 静岡サミル聖書教会内

電話:054(254)0262 Fax:054(254)0269 Email:arrow04stbc@ybb.ne.jp



「初孫を与えられて思うこと」

シャイニングアロー・ミニストリー代表

静岡サミル聖書教会牧師

李 英洙(リー・ヨンス)

私は初孫を今年の8月に与えられましたが、其の孫を見ながら、人間の赤ん坊は本当に無力な存在として生まれるものだなどと改めて感じました。

動物の中で人間の赤ちゃんほど何もできない存在で生まれてくるものはないと言われていますが、そのような無力な存在にとって、絶対に必要なものが無条件の親の愛です。其の中でも特に必要不可欠なのが母性愛です。母が全ての世話をし、赤ん坊の命を守り育てようとする愛がなければ、赤ん坊の命は生き延びることができません。

現在、無力な孫娘は、母親の無条件の母性愛に守られて、人格の成長に必要な対人関係における基本的信頼感の絆という土台作りをしながら、少しずつ成長していますが、この時期に母性愛を充分にもらえず、人間に対する基本的信頼感を持つことができなかった、多くの傷ついた魂がいることを思わずにはられません。

李英洙師：伝道礼拝奉仕



私自身も赤ん坊の時に、十分な母性愛をもらうことができずに育ち、人格の核の部分に人間に対する基本的不信感が植えつけられてしまい、その後の人格形成において大きな困難を抱えるものになってしまいました。

しかし、そのような傷ついた私の心も、主は癒してくださいました。其の方法は肉の母の不足した母性愛を、天の神様の母性愛で埋めて下さるという方法でした。イエス様の十字架の愛が母性愛だと教えて下さったのです。十字架の愛が無条件の受容と共感と守りの愛であり、完全な母性愛だと言う気づきを与えて下さり、その愛を小さな私の赤ん坊の心の中に満たして下さったのです。

現在のプロテスタント教会に最も欠けているものの一つが、天の神様の母性愛のメッセージではないかと思えます。どちらかと言うと天の神様の父性愛ばかりが伝えられていて、本当の慰めと癒しと平安をもたらす天の母性愛のメッセージが弱いのではないかと思えます。心に本当の安心の思いをもたらす、神様への強い信仰をもたらす愛はなんと言っても十字架の母性愛が第一です。もちろん全能の父なる神様の父性愛への信頼も大切ですから、私達はこの両方の愛をしっかり神様からいただいて、力強い信仰の勇者になることを目指して行かなければなりません。そして人々に仕える弟子にならなければなりません。パウロもIテサロニケ2：7～12の中で、主から与えられる母性愛と父性愛に満たされて信徒達に仕えたとあります。私達も彼の神の愛に満たされた信仰の歩みを見習って歩んで行きましょう。

☆日本人が持つ潜在意識下の強い恐れと不安を利用しよう！

日本人の貯蓄額と率が世界で最も高いと言われています。これは一見すると豊かさの表れとして良いことのように思われますが、裏を返せば日本人が一番不安と恐れを潜在意識下に抱えている臆病な国民であるということの証明であるということが言えるのではないのでしょうか。誰も守ってくれないので、自分の生命を守るための自衛措置を必死に講じながら生きていると言うことでしょうか。強度の恐れと不安に支配されている日本人は、一生懸命働いて、お金を稼ぎ、そのお金を貯蓄に回したり、保険に加入して安心を得ようとしていたり、また、それだけでは足りないかのように、ご先祖様や、様々な神々を拝んだり、ご利益を約束する新興宗教へ入信したりして、自分を守ろうとしているのではないのでしょうか。

このような日本人の潜在意識を上手く利用して、日本宣教を進めるならば、より多くの魂を刈り取ることができるのではないかと思います。これまでの宣教はどちらかと言うと、人間の罪と裁きを教え、其の罪と裁きから救い出すイエス様の十字架の福音を宣べ伝えるということに重点が置かれてきましたが、そのようなアプローチは往々にして、裁きへの不安と恐れを助長し、より強い抵抗感を人に与えて、心をかたくなにしてしまう場合があると思います。すでに十分な不安と恐れの心を強く持っている日本人の心を開くためには、その不安と恐れを和らげ、取り除くことができる福音を最初から提供し続けることが肝心だと思います。

先日一人のとても真面目でよく働く男性のカウンセリング伝道をしていたのですが、その人の潜在意識の中には、とても強い生活苦への不安と恐れが潜んでおり、其の不安を打ち消すために、一生懸命働いて、自分と家族の生活を守ろうとしていることがわかりました。そこで私は彼に対して、そんなにも自分の生活を守るために一生懸命働かなくても大丈夫なこと、創造主なる神様があなたのことを心から愛しており、生活の全てを守ってくださる方であることを伝えました。そしてそのような真の神様を信頼して歩めば、恐れと不安から解放されて、もっと楽に生きることができることを伝えました。

そうしたところ、彼は「分かりました。それでは祈り方を教えて下さい。」と言って心を開いてくれました。

「全て疲れた人、重荷を負っている人は私のところに来なさい。私があなたがたを休ませてあげます。(マタイ11:28)」

「空の鳥を見なさい。種まきもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養っていて下さるのです。あなたがたは鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。(マタイ6:24)」

これらの御言葉には、日本人が求めて止まない不安と恐れからの解放を約束している福音が示されています。真の神様から離れて、見捨てられ不安と恐れの中で生きてきた日本人を、愛なる親神様の庇護の元に戻してくださり、安心して生きることができようにして下さる福音を、私達はもっと大胆に宣べ伝えましょう。このような福音に対しては、日本人は抵抗感なく心を開くことができる可能性を最も持っている国民だと思うのです。

日本人ほど福音を受け入れない保守的で頑固な民はいないと言われてはいますが、そのような否定的思考に捕われて、日本宣教に絶望してはいけないと思います。日本人ほど臆病な民はいないので、其の特徴を逆手にとって、不安と恐れの中に共感しつつ、そこから解放する福音を前面に押し出して宣教し続けることによって、豊かな収穫の恵みを得ることができるのではないのでしょうか。

パウロは伝道の方法論として、

「ユダヤ人にはユダヤ人のようになりました。それはユダヤ人を獲得するためです。……………」

弱い人々には、弱い者になりました。弱い人々を獲得するためです。すべての人に、すべてのものになりました。それは何とかして、幾人かでも救うためです。(Iコリント9:19~23)」

と言っています。日本人の特徴を知って、それに合わせて福音を上手にアレンジして提供することを心がけていけば、かつてハドソン・テーラーが中国人になりきって中国宣教で大成功したようなことが日本でも起こると信じます。

☆健全な信仰生活に必要なバランス感覚について

私はこの頃、健全な信仰生活に最も必要なものは正しいバランス感覚だと思われています。どんなに良いものでも偏りがあると、信仰生活は上手くいきません。例えば神の母性愛と父性愛のバランス、信仰と行いのバランス、理性的信仰と感情的信仰のバランスなどです。これらのバランスが上手く取れていないために色々な問題が起きています。私もかつては未熟で霊的バランス感覚が充分養われていなかったために沢山の失敗をしてきましたが、その失敗を通して、霊的偏りをただされ、正しいバランス感覚を持つ者へと変えられてきました。

さて、読者の皆さんはご自分の中にどのような霊的偏りがあるでしょうか。その偏りを発見して修正していただきたいと思います。鷲は2枚の翼を広げ、上昇気流を捉えて大空に舞い上がって行きますが、私達も同じように2枚の信仰の翼を広げ、聖霊の風を捉えてバランスよく信仰の高嶺へ舞い上がっていきましょう。

それではまず第一に大切なバランスは何でしょうか。それは、神様の母性愛と父性愛のバランスです。残念ながらプロテスタント教会の弱点は、母性愛の素晴らしさが十分に認識されていないということです。そのため母性愛がもたらす深い共感と受容による慰めと癒しの愛を充分知らない人達が大勢います。その点でカトリックはこの働きを聖母マリア信仰によって肩代りさせて、多くの人々を引きつけてきたと思います。プロテスタント教会はもっとこの母性愛の素晴らしさを広めていかなければならないと思います。もちろん、信仰によって義と認められた者が、主の教育と訓練によって成長させられ、聖化されていくという父性的愛の働きも大切です。この二つの愛を深く体験してバランスよく信じる時、安定した信仰生活を送ることができるのです。

次に大切なのはこの母性愛と父性愛によって与えられる信仰と行いのバランスです。聖霊の働きによって、十字架の完全な母性愛を信じることができた人は救いを確信することができ、その信仰の確信によってうまれる平安と喜びと感謝に満たされ、次の段階に進むことができます。その段階が父性愛のエネルギーに満たされて、神の子に相応しい善行をする段階です。Iコリント3:10~15にはパウロが信仰と行いのバランスを家の土台と建物に例えて、

説明していますが、それは十字架の土台の上に立派な行いの家を建てることを目指しなさいという勧めです。しかし信仰が母性愛に偏ってしまうと、無律法的な生活になる危険があります。その反対に信仰が父性愛的に偏ってしまうと、律法主義的生活になる危険があります。多くのクリスチャンの中にこのような偏りがあるのを私は見てきました。ある人々は依存的傾向を持ち、神様の母性愛に甘えて、無責任な生き方を正さないで自己中心的に生きていました。またある人々は共依存的傾向を持ち、律法主義的信仰によって、窮屈な生き方をしている人々でした。どちらかということこちらの人々が多いと思いますが、その人々は残念ながら、神の愛を厳しいもの、善行が出来ない者には裁きが下されると言う無意識の恐れに支配されていました。また、ある人々は両方の特性を持った混合型人格であるため、その信仰と行いが両極端な形でアンバランスに出ている人達でした。私達は自分の人格と信仰の偏りをなくして、良い行いを生み出す良い信仰を持つことが大切だと思います。

最後に私が教えられてきたのが、理性面(左脳)と感情面(右脳)におけるバランスです。プロテスタント教会はカトリック教会に対抗し、御言葉中心の理性的信仰、知識的信仰、論理的信仰(男性的信仰)を築いてきましたが、その傾向が強すぎるため、感覚的、感情的信仰や体験的信仰(女性的信仰)を軽視し、疑問視して、低く見てしまう傾向を持ってきたと思います。そのため感情面の満たしや癒しが起こらなかったり、感覚的な聖霊体験を否定したりして、信仰が観念的で堅苦しい律法的なものになってきたと思います。その点でカトリックは芸術的世界(美術や音楽)を活用し、感覚的世界を上手に使って、信仰を伝えようとしてきたと思います。神様は私達に理性と感情の二つを与えて下さいました。ですからこの両面で信仰を受け取っていかなければならないと思います。それによって聖霊の臨在の中で、主との生き生きとした交わりと喜びを体験しながら、同時に御言葉に根ざした安定した信仰生活を築いていくことができるのではないかと思います。これは調度、信仰によって結ばれた夫婦が男女の特性を生かしあいながら、バランスよく、お互いの信仰を合体させて、支え合うように意図された神様のみこころに適った理想の姿に重なると言えるでしょう。

李 英洙 (リー・ヨンス)・プロフィール

1949年、韓国で生まれ、3才から静岡市で成長する。早くから歌の才能に目覚め、高校時代に本格的にオペラ歌手の道を志す。1974年、武蔵野音楽大学声楽科を第2位で卒業。77年に西ドイツのロバートシューマン音楽大学に留学し、80年には西ドイツ演奏家国家試験に最優秀で合格、ディプロマを獲得する。在学中から北西ドイツ各地でオラトリオ歌手として活躍し、好評を得る。その間に教会に導かれ、真理に目が開かれクリスチャンとなり、81年、神の召しによってオペラ歌手への道から聖職者の道に転進する。西ドイツのヴィーダネスト聖書学院、東京の聖書神学舎を卒業後、85年大韓イエス教長老会(高麗派)宣教師として、静岡市にて開拓伝道を開始し、

静岡サミル聖書教会を設立。現在まで同教会牧師として働いている。牧会のかたわら、巡回賛美伝道者としても献身、全国各地の教会の伝道会・聖会に招かれ奉仕している。2005年からは新たに、インナーヒーリング・ミニストリーの普及に取り組み、カウンセラーとして日本の教会の霊的刷新のためにも仕えている。2006年から開拓伝道20周年を期にシャイニングアロー・ミニストリーを立ち上げ、毎年日本縦断伝道ツアーを行い、全国各地の教会を精力的に巡回している。与えられた賛美の賜物とメッセージの二刀流を駆使して語る赦しの福音、慰めと癒しの福音は多くの人の心を捕らえ、救いと癒しの恵みに導いている。著作として「闇をつらぬく光の矢へ(傷ついたインナーチャイルドの癒しと変革)」「在日ちいろば二世物語」賛美CD「ああ主よ我を」「光の主はともに」がある。

<奉仕分野>

各種伝道集会での賛美、証し、伝道説教
信徒の建て上げ説教、献身礼拝説教
地域の教派内や超教派での聖会奉仕
慰めといやしの聖会奉仕
インナーヒーリングセミナー
個人カウンセリング・コーチング

- ・奉仕内容は各教会のニーズに合わせて柔軟に対応いたしますので、ご相談ください。
- ・奉仕料につきましては、教会としてできる範囲でお考え下されば結構です。
- ・各教会の歴史や方針をあくまで尊重して、教会形成に役立つ奉仕を心がけます。

<2014年度の宣教旅行予定表>

2月15～23日	沖縄地区
3月8～16日	海外
4月19～27日	九州地区
5月10～18日	北海道地区
6月7～15日	東北地区
7月12～21日	南関東地区
9月13～23日	北陸地区
10月11～19日	近畿地区
11月8～16日	東海地区
12月13～22日	東京地区

～李英洙の書籍類 好評販売中～

- ★「在日ちいろば二世物語」(1000円)
57年間の波乱に富んだ半生を赤裸々につづった自伝です。大変好評です。神の生きた御業の数々に感動し、信仰生活の励みになる内容です。伝道用にも牧師や信徒の霊的養いにも有益です。
- ★「闇をつらぬく光の矢へ」(1000円)
5年間に渡る聖書のインナーヒーリング体験から生まれた実用的なインナーヒーリングミニストリーの手引き書です。特にセルリーダーや牧会者にとって有益な内容ですのでお買い下さい。
- ★賛美CD「ああ主よ我を」(2000円)
甘いテノールの美声が歌う、クラシックからゴスペルまでの珠玉の全12曲を収録。
賛美CD「光の主はともに」(2000円)
慰めと励ましをテーマにした全12曲を収録。

- ★ サポーター会員の募集: 李師の日本人宣教への熱い思いに共感し、この働きを祈りながら自由献金によってサポートして下さる教会や個人の方々を募集しています。会員の皆様には定期的にニュースレターや書籍・集会・演奏会等のご案内をお送りいたします。また様々な悩み事のアドバイスとカウンセリングをいたします。

郵便振替口座: 00880-2-80020

「静岡サミル聖書教会」

銀行口座: 静岡銀行 しずはた支店

普通 0427810

*2014年度も左記の予定表に従って、各地域を巡回いたしますので奉仕のご依頼をお寄せください。該当地域以外でも、随時ご依頼を受け付けていますのでご連絡ください。(事務局より)